

- [ENGLISH](#)

検索

- [ホーム](#)
- [防災情報](#)
- [各種データ・資料](#)
- [地域の情報](#)
- [知識・解説](#)
- [各種申請・ご案内](#)

- [ホーム](#) >
- [知識・解説](#) >
- [防災気象情報と警戒レベルとの対応について](#)

防災気象情報と警戒レベルとの対応について

「[避難情報に関するガイドライン](#)」（内閣府（防災担当））では、住民は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるとの方針が示され、この方針に沿って自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されることとなっています。

自治体から警戒レベル4 避難指示や警戒レベル3 高齢者等避難が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方で、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されます。このため、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4 や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3 に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくてもキキクル（危険度分布）や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。

避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

- [防災気象情報の役割について](#)

防災気象情報をもとにとるべき行動と、相当する警戒レベルについて

情報	とるべき行動	警戒レベル
<ul style="list-style-type: none"> • 大雨特別警報 • 氾濫発生情報 	<p>地元の自治体が警戒レベル5 緊急安全確保を発令する判断材料となる情報です。災害が発生又は切迫していることを示す警戒レベル5に相当します。</p> <p>何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い状況となっています。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保してください。</p>	警戒レベル5 相当
<ul style="list-style-type: none"> • 土砂災害警戒情報 • 危険度分布「非常に危険」（うす紫） • 氾濫危険情報 • 高潮特別警報 • 高潮警報 	<p>地元の自治体が警戒レベル4 避難指示を発令する目安となる情報です。危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当します。</p> <p>災害が想定されている区域等では、自治体からの避難指示の発令に留意するとともに、避難指示が発令されていなくてもキキクル（危険度分布）や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。</p>	警戒レベル4 相当
<ul style="list-style-type: none"> • 大雨警報（土砂災害） ※1 • 洪水警報 • 危険度分布「警戒」（赤） • 氾濫警戒情報 • 高潮注意報（警報に切り替える可能性が高い旨に言及されているもの ※2） 	<p>地元の自治体が警戒レベル3 高齢者等避難を発令する目安となる情報です。高齢者等は危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。</p> <p>災害が想定されている区域等では、自治体からの高齢者等避難の発令に留意するとともに、高齢者等以外の方もキキクル（危険度分布）や河川の水位情報等を用いて避難の準備をしたり自ら避難の判断をしたりしてください。</p>	警戒レベル3 相当

<ul style="list-style-type: none"> 危険度分布「注意」(黄) 氾濫注意情報 	避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当します。 ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。	警戒レベル2相当
<ul style="list-style-type: none"> 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報(警報に切り替える可能性に言及されていないもの※2) 	避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2です。 ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。	警戒レベル2
<ul style="list-style-type: none"> 早期注意情報(警報級の可能性) 注：大雨に関して、「高」又は「中」が予想されている場合	災害への心構えを高める必要があることを示す警戒レベル1です。 最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めてください。	警戒レベル1

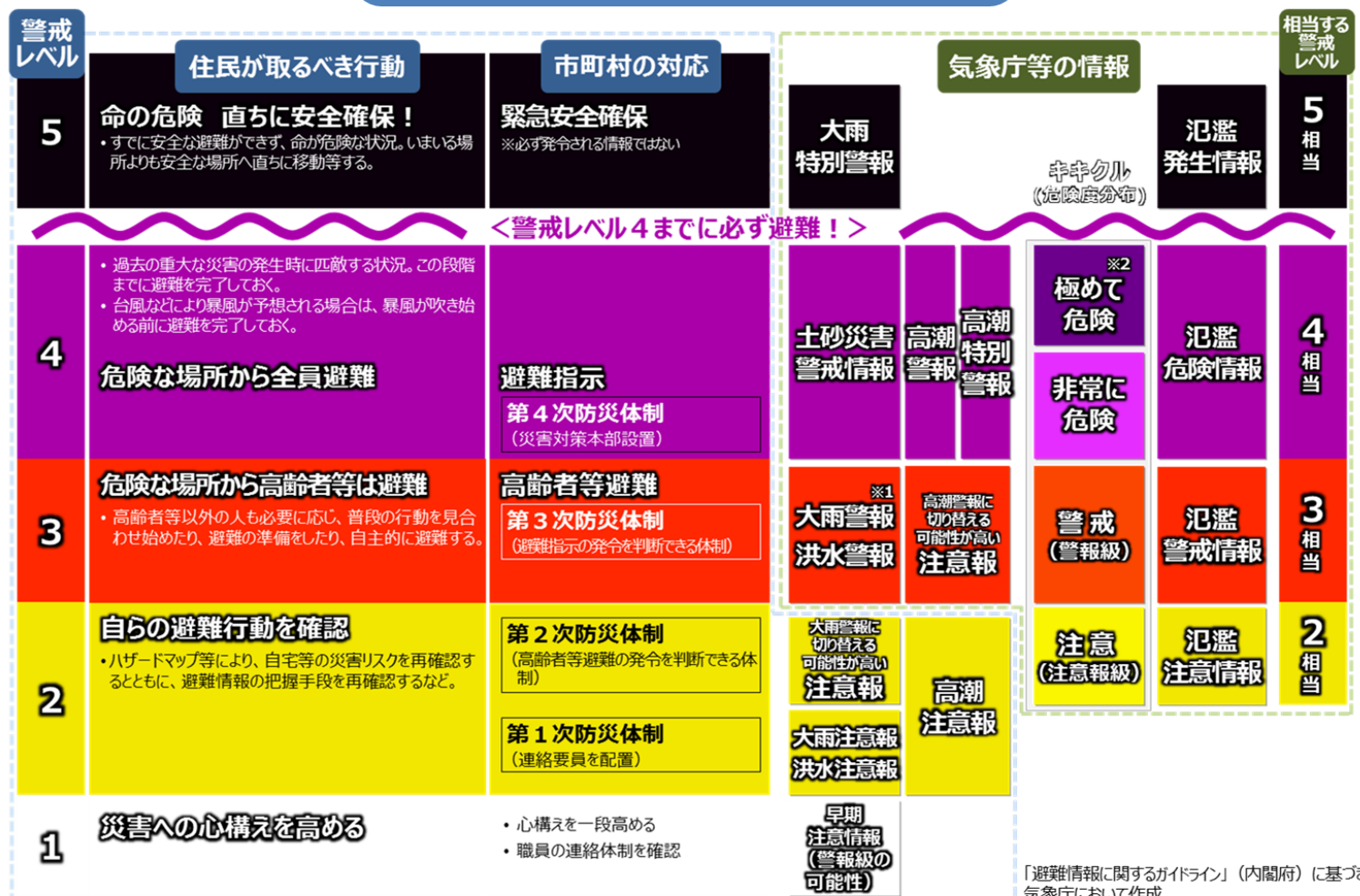
※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等は危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。

※2 警報に切り替える可能性については、市町村ごとの警報・注意報のページで確認できます。

- 現在発表中の **特別警報・警報・注意報**
- 現在発表中の「**キキクル**」(危険度分布) ([土砂災害](#)/[浸水害](#)/[洪水](#))
- 現在発表中の **指定河川洪水予報** (氾濫発生情報、氾濫危険情報、氾濫警戒情報、氾濫注意情報)
- 「**キキクル**」(危険度分布)の **通知サービス**について

段階的に発表される防災気象情報と対応する行動

5段階の警戒レベルと防災気象情報



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

※2 「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の紋じり込みに活用することが考えられます。

現象毎の警戒レベルの判断基準と気象警報等の関係については、以下を参考にしてください。

- ・ [土砂災害](#)
- ・ [洪水](#) ([洪水予報河川](#)、[水位周知河川](#)、[その他河川](#))
- ・ [高潮](#)

チラシ「キキクル（危険度分布）のうす紫は警戒レベル4相当！ 自ら避難の判断を！」

- ・ [チラシ（カラー）_ダウンロードファイル](#)[PDF形式: 約1.1MB]
- ・ [チラシ（白黒）_ダウンロードファイル](#)[PDF形式: 約1.1MB]

防災気象情報の伝え方が変わります

キキクルのうす紫は警戒レベル4相当！ (危険度分布) 自ら避難の判断を！

高齢者等の避難が必要とされる状況
警戒レベル3相当

平成30年7月6日 広島市安芸区の事例

避難が必要とされる状況
警戒レベル4相当

遅くともうす紫で避難開始!!

短時間で

命が危険にさらされる状況！
もはや避難できない！

短時間で

20時29分

気象庁
Japan Meteorological Agency

画像：民間提供

それぞれの警戒レベルに相当する情報を、早めの避難行動の判断に役立ててください。
市町村からの避難指示等の発令に留意するとともに、避難指示等が発令されていなくとも自ら避難の判断をしてください。
警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	警報等	警戒レベルに相当する気象庁等の情報	指定河川及び河川
5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 <small>※必ず命令される場合は、</small>	大雨 特別警報	キキクル (危険度分布)	氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難！>					
4	過去の重大な災害の発生時に 匹敵する状況。この段階までに 避難を完了しておく。 台風などにより暴風が予想される 場合は、暴風が吹き始める前に 避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害 警戒情報	極めて危険※2	氾濫危険情報
3	危険な場所から 全員避難 危険な場所から 高齢者等は避難 <small>・高齢者等以外の人にも必要に応じて、 前回の行動を現金合わせ始めたり、 避難の準備をしたり、自主的に 避難する。</small>	高齢者等避難	大雨警報※1 洪水警報	非常に危険	氾濫警戒情報
2	自らの 避難行動を確認 <small>・ガザードマップ等により、自宅等の災害 リスクを再確認するとともに、避難情報の 把握手段を再確認するなど。</small>		大雨注意報 洪水注意報	警戒 (警報級)	氾濫注意情報
1	災害への心構えを 高める		早期 注意情報 (警報級の 可能性)	注意 (注意報級)	

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等避難(警戒レベル3)に相当します。

※2 「極めて危険」(濃い紫)が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「濃い紫」は大雨特別警報が発表された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の取り込みにも活用することが考えられます。

気象庁
Japan Meteorological Agency

〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9
TEL: 03-6758-3900 (代表)
FAX: 03-3434-9085 (目が不自由な方向け)
ホームページ <https://www.jma.go.jp/>

警戒レベルについて

警戒レベルについて、詳しくは[内閣府ホームページ](#)をご覧ください。

※警戒レベルに関するチラシ（内閣府・消防庁作成）

令和3年5月20日から

警戒レベル
4

避難指示で必ず避難

避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 <p>緊急安全確保 ※1</p>	<p>災害発生情報 (発生を確認したときに発令)</p>
4	 <p>避難指示 ※2</p>	<p>・避難指示(緊急) ・避難勧告</p>
3	 <p>高齢者等避難 ※3</p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>
2	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて自らの行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません!

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障害のある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

「避難」って何すればいいの?

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。下の4つの行動があります。

行政が指定した避難場所への立退き避難

自ら携行するもの
・マスク
・消毒液
・体温計
・スリッパ 等

小・中学校
公民館

安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

親戚・知人宅

普段からどう行動するか決めておきましょう

安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要ですが。事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。

ホテル
旅館

屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

ここなら安全!

「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- 1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っていると...)
- 2 浸水深より居室は高い
- 3 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分(十分じゃないと...)

※1 家屋倒壊等氾濫想定区域や※2 水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は最も危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況を十分に確認して下さい。

[このページのトップへ](#)

- ・ [気象庁ホームページについて](#)